

4年 | こんどう みゆき 近藤 美幸 さん [岡山県立津山東高等学校 出身]

鳥取のお気に入り

鳥取駅前でカフェめぐり

鳥取駅前周辺にはかわいいカフェがいっぱい！古民家を改築したものや、こだわりのコーヒーやパンが頂けるお店など個性派ぞろい。木づくりで優しい照明のカフェでくつろぐのが大好きです。



将来の夢に向かってAOでチャレンジ!

私が地域文化学科のAO受験を決めたのは、出願〆切り直前の高3夏休み明け。中学校の国語教師になりたいと考えていて、当初は別の大学の文学部を志望。そこへ担任の先生が鳥取のAO入試を見つけてきてくれたんです。5歳から書道、小2からソフトボールを続けてきたことが活かせると思い、即決。すぐさま準備に取りかかりました。最初の壁は自己推薦書の作成。書道は八段を持っていますが、それだけではアピール不足。どういう観点で深めるかが難しかった。先生の添削を受けながら、日本独特の文化であり、その修練の中で心の落ち着き、根気が芽生えたことなどをできるだけ具体的に記入しました。

多様な試験内容だけに対策は早めに

1次面接の練習では先生のするどい突っ込みには答えることができず、くじけそうになったことも。でも、厳しい練習のおかげで本番は緊張もなく、逆に自分のことを知ってもらえるのが快感だったくらい(笑)。2次の自己表現では書道を実演。道具の準備から始まり、姿勢や心構え、書き方、片付け方まで、すべてを見ていただきました。個人面接の英語による質疑応答は、グループディスカッションや課題論文の対策に追われて手が回っておらず、想定していなかった質問をされて大慌て!しどろもどろでなんとか答えたものの、準備不足が露見する結果に…。AOは試験日が9・10月なので、早め早めに対策をスタートさせることが重要です。

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 4人

【趣旨】 様々な地域の文化(言語・文学・歴史など)の特性を深く理解しつつ、地域文化の継承・発展に寄与できる人や、国際的な視野をもって活躍できる人の育成を目標としています。このため、これらの領域における意欲、資質、能力を多様な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 地域固有の文化・伝統に関心があり、その文化資源の継承、発展を地域の人々とともに進めたいと思う人
- 国際的・実践的なコミュニケーションの力を身につけ、広く社会に貢献したいと思う人

平成25年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとす姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

※第1次選考の評価は第2次選考の評価には加えませんでした。提出書類(調査書・入学志願票)は第2次選考において受験生に関する基礎情報、受験生の特徴把握や個人面接における質問の参考資料として用いました。なお、第2次選考の試験委員は3名で行いました。

自己表現、 グループディスカッション (1日目)

自己表現では、15分間以内で自己アピールを行いました。受験生が高校生活でしてきたことや得意なこと、考えてきたことを自由に表現してもらい、受験生がどのようなことを大事にしてきたのか、どのような感性をもっているのかを見ました。
グループディスカッションは、3時間程度を要しました。受験生1人ひとりが発言する時間は等しく保証しました。

課題論文 個人面接 (2日目)

午前の課題論文では、テキストを読んで、問い(1つ)に800字から1200字以内で論述しました。テキストは3つでした。
午後の個人面接は、受験生1人に対し試験委員3名が面接する形式で、受験生1人あたり15分から20分程度行いました。提出書類や自己表現、課題論文などを参考にして、志望理由や意欲の強さ、文化やさまざまな交流への関心などを確認しました。また、ごく簡単な英語での質問も数問行いました。